

# ストックの上澄み

村田憲治@山県高校

月に一度のサークル例会が終わって家に帰るとすぐに取りかかる仕事がある。その日の例会で紹介された実験や工作を紹介するホームページ用のHTMLファイルを作るのだ。写真や動画を選んでページに貼りつけ、短いコメントをつけるだけのことなんだけど、4時間くらいはかかる。

「その日のうちに『例会の記録』のページができてるから驚きだ。よほどヒマなんだな」などとよく言われるが、僕にとってはこれもサークル例会の続きなのだ。他のメンバーより4時間も多く楽しめるんだから、これはやめられない。「ご飯だから早く来なさい！」と妻に怒られても中断できない。妻に「全国の仲間がホームページの更新を待っているのだ。少し待ってくれ」と言っても全然信用してくれない。おまけに僕の食べるものがなくなったりする。

## ホームページの存在意義は？

1997年のホームページ開設以来動かしているアクセスカウンタが95,000を超えた。



<http://www.straycats.net/>

ホームページ開設当初、最も頻繁にここを訪れてカウンタを回していたのは僕だったが、最近では1日平均約80アクセスある(インチキはやめました)。

例会の次の日には30アクセスくらい増えるから、約30人の「全国の仲間」が待っててくれるのだ。あ、10人はサークルメンバーだから、「全国の仲間」は20人か。たいしたものだ。

「どうだ、まいったか」と妻に威張ろうと思ったが、また今度にしよう。

ところで、ニュース集もこれで Vol. 25 となった。本棚にずらりと並んだニュース集は膨大な教材のストックだ。20 年前の記事であっても決してその輝きを失っていないのは驚くべきことだし、これがなくちゃ僕の授業は成り立たないんじゃないかと思う。そうすると別にホームページはなくても構わないような気もするが、それでは僕の立場がないので存在意義を考えた。

### ① カラー写真がある

幸いサークルニュースは白黒印刷だから、この点はホームページにアドバンテージがある。僕の優秀な撮影技術によって撮られた実験装置のアップは 20 人の「全国の仲間」に歓迎されているはずだ。

### ② 動画がある

幸いサークルニュースに描かれた実験装置は動かないから、この点もホームページの圧倒的勝利だ。難点は動画を増やすとホームページの容量を圧迫することか。

### ③ サークルメンバーの顔が分かる

幸いサークルニュースにはメンバーの顔写真が載ってない。中年オヤジ(僕を除く)の顔など誰も見たくないだろうからこれはありがたいのだが、残念ながらホームページではそういうわけにいかない。僕も撮ろうとは思ってないが、実験装置の向こう側に運悪くメンバーがいて、写ってしまうことがある。何らかの対策(モザイクをかける等)が必要である。

## サークルニュースとホームページは車の両輪

以上述べたように、サークルニュースの弱いところをホームページが補完しているわけだ。しかし、正直に言うと情報をストックするには、現在のところ紙メディアに勝るものはないような気もする。ホームページは所詮「フロー情報」にすぎない。ひいき目に言っても「ストックの上澄み」といったところだろうか。ホームページをインデックスとして、このニュース集を参照する、という使い方がベストだと思う。

というわけで、この冊子をお買いあげいただいたあなたは正解である。ついでにバックナンバーをすべて揃えてみてはどうだろうか。ホームページ上でもバックナンバーの注文を受け付けているからよろしく願いしたいものだ。

ところで最近、ホームページ上に大量の教材をいつでも利用可能な形でストックできないものか、と考えて中古パソコン+Linux+Apache で自宅 Web サーバーを立ててみた。試みに自分がサークルニュースに書いた原稿をアップしてみるとあっという間に 100MB を超えたが、ハードディスクの容量は何十 GB もあるわけだから、これは結構イケる。プロバイダのホームページスペースに頼らないで自力で情報発信できるというのは気分の良いものだ。

調子に乗って、Samba サーバーと FTP サーバーとメールサーバーまで立ててみた。あと必要なのは、ビールサーバーくらいのもんだ。Linux でビールサーバーは無理か、そうか。

[murata@straycats.net](mailto:murata@straycats.net)

自宅サーバー <http://physics.atnifty.com/>